

コニカミノルタグループ 2008年3月期 第3四半期決算説明会

常務執行役 松本泰男

2008年1月31日

コニカミノルタホールディングス株式会社

- **本資料の記載情報**

本資料におきましては、四捨五入による億円単位で表示しております。

- **将来見通しに係わる記述についての注意事項**

本資料で記載されている業績予想、将来予想は現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境により実際の業績が異なる場合があることをご承知おき下さい。

07年度第3四半期(3ヶ月)決算のサマリー



- ▶ **売上高:** 全事業で増収となり、上期のモメンタムを維持。
 - ・前年同期比+8%の増収、フォトイメージング除いた事業計では同+12%の増収。
- ▶ **営業利益:** 情報機器及びオプトが牽引し、3Qとしては過去最高益。
 - ・前年同期比+35%の増益、特にTACフィルムが好調なオプトが貢献。
- ▶ **情報機器:** 上期投入のカラーMFP新製品が牽引し、増収増益。
 - ・売上高は前年同期比+7%の増収、営業利益は同+9%の増益。
- ▶ **オプト:** TACフィルムを中心に全事業領域で販売を伸ばし、増収増益。
 - ・売上高は前年同期比+51%の増収、営業利益は同2.6倍の増益。
- ▶ **業績予想:** 事業ごとに多少の差はあるが、9ヶ月累計及び4Q見通しを踏まえグループ全体としては計画に沿って進捗しているため、11月公表値を変更しない。

07年度第3四半期(3ヶ月) 連結業績ハイライト



【億円】

	07年度 3Q実績	06年度 3Q実績	対前年 増減率	07年度 下期計画	進捗率
売上高	2,700	2,506	8%	5,600	48%
売上総利益	1,392	1,208	15%	-	-
(売上総利益率)	51.5%	48.2%	-	-	-
営業利益	325	241	35%	589	55%
(営業利益率)	12.0%	9.6%	-	10.5%	-
経常利益	318	250	27%	523	61%
税前利益	314	304	3%	501	63%
当四半期純利益	181	176	3%	284	64%
(当四半期純利益率)	6.7%	7.0%	-	5.1%	-
為替レート	US\$ 113.19	117.82	4.63	115.00	
	ユーロ 163.87	151.94	11.93	150.00	
EPS	34.05	33.19	3%		
ROE(年換算)	17.4%	21.0%	-		
設備投資	186	179	4%		
減価償却費	160	129	24%		
研究開発費	207	182	14%		
FCF	3	52	-		

11/1公表値

07年度第3四半期(3ヶ月) セグメント別売上高/営業利益



KONICA MINOLTA

【億円】

売上高	07年度 3Q実績	06年度 3Q実績	対前年 増減率	07年度 下期計画	進捗率
情報機器	1,752	1,644	7%	3,681	48%
オプト	507	335	51%	917	55%
メディカル & グラフィック	370	360	3%	844	44%
その他事業	40	38	5%	107	37%
事業計	2,669	2,378	12%	5,549	48%
フォトイメージング	-	111	-	-	-
HD他	31	18	73%	52	59%
グループ計	2,700	2,506	8%	5,600	48%

営業利益	07年度 3Q実績	06年度 3Q実績	対前年 増減率	07年度 下期計画	進捗率
情報機器	224	205	9%	468	48%
オプト	111	43	162%	124	90%
メディカル & グラフィック	19	20	-4%	50	38%
その他事業	2	5	-56%	22	11%
事業計	356	272	31%	664	54%
フォトイメージング	-	8	-	-	-
HD消去他	31	24	-	75	-
グループ計	325	241	35%	589	55%

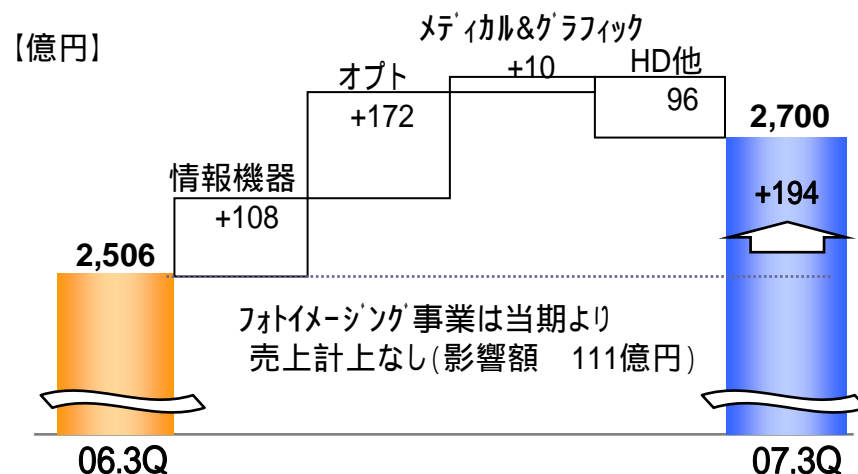
11/1公表値

07年度第3四半期(3ヶ月) セグメント別売上高/営業利益増減



KONICA MINOLTA

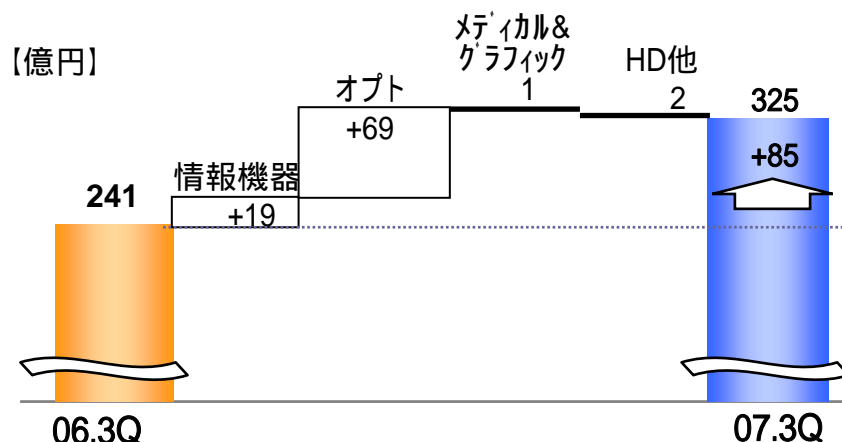
売上高



194億円(8%)の増収

- ▶ 情報機器: オフィス向けはSeg3~4のカラー-MFP新製品がプロダクションプリント向けは「bizhub PRO C6500」が好調。
- ▶ オプト: 全ての事業領域で販売が好調に推移。
- ▶ メディカル&グラフィック: 開業医向けCR新製品やデジタル印刷機など機器販売が伸長。

営業利益



84億円(35%)の増益

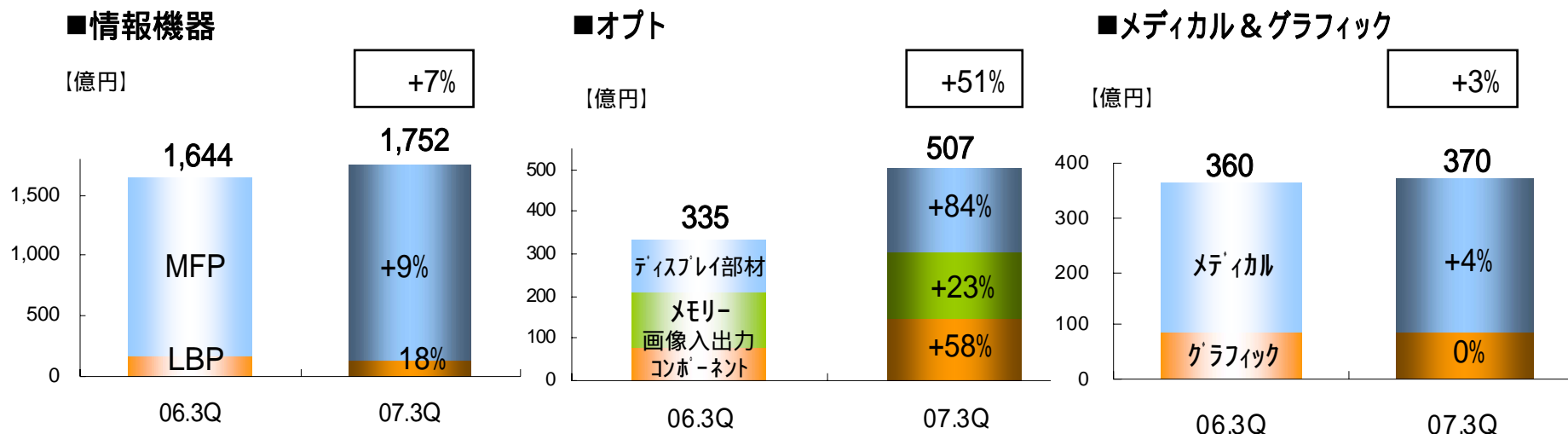
- ▶ 情報機器: 高速カラー-MFPの販売増でカラー比率及び消耗品比率が上昇。MFP営業利益率は14.5%に。
- ▶ オプト: VA-TAC及び次世代DVD用ピックアップレンズなど高機能品の販売増が貢献。
- ▶ メディカル&グラフィック: 銀価格高騰の影響や研開発の増加により減益。

06.3Q
The essentials of imaging

07年度第3四半期(3ヶ月) 主要3セグメント概況



売上高



販売数量増減(対前年)

■ MFP : 0%	■ ディスプレイ	■ 医療・ヘルスケア
カラー : +35%	TACフィルム : +67%	X線フィルム : +1%
モノクロ : 12%	■ メモリー	デジタル入出力機 : +49%
うちプロダクションプリント : +2%	光ピックアップレンズ : 5%	■ 印刷
■ LBP : 46%	ガラスHD基板 : +47%	フィルム : 4%
カラー : 51%	■ 画像入出力コンポーネント	
うちタンデム : +3%	携帯用コンポーネント : +191%	
モノクロ : 44%		

07年度第3四半期(9ヶ月) 連結業績ハイライト



【億円】

	07年度			06年度		
	9ヶ月累計	通期予想	進捗率	9ヶ月累計	増減率	
売上高	7,950	10,850	73%	7,446	7%	
売上総利益	3,989	-	-	3,586	11%	
(売上総利益率)	50.2%	-	-	48.2%	-	
営業利益	896	1,160	77%	703	27%	
(営業利益率)	11.3%	10.7%	-	9.4%	-	
経常利益	864	1,070	81%	698	24%	
税前利益	852	1,040	82%	783	9%	
当期純利益	557	660	84%	401	39%	
(当期純利益率)	7.0%	6.1%	-	5.4%	-	
11/1公表値						
為替レート	US\$	117.28	下期 前提	115.00	116.19	1.09
	ユーロ	162.82		150.00	147.96	14.86
EPS	104.98	124.36	-	75.59	39%	
ROE(年間換算)	17.9%	-	-	15.0%	-	
設備投資	522	700	75%	516	1%	
減価償却費	445	670	66%	375	19%	
研究開発費	591	830	71%	530	11%	
FCF	184	200	-	54	244%	

参考: 1円あたりの為替感応度(営業利益への年間の影響額)

07年度上期実績 US\$: 1億円 ユーロ: 8.5億円

07年度第3四半期(9ヶ月) セグメント別売上高/営業利益



KONICA MINOLTA

【億円】

売上高	07年度			06年度	
	9ヶ月累計	通期予想	進捗率	9ヶ月累計	増減率
情報機器	5,221	7,150	73%	4,740	10%
オプト	1,340	1,750	77%	1,012	32%
メディカル & グラフィック	1,176	1,650	71%	1,121	5%
その他事業	123	190	65%	112	9%
事業計	7,861	10,740	73%	6,985	13%
フォトイメージング	-	-	-	410	-
HD消去他	89	110	81%	51	74%
グループ計	7,950	10,850	73%	7,446	7%

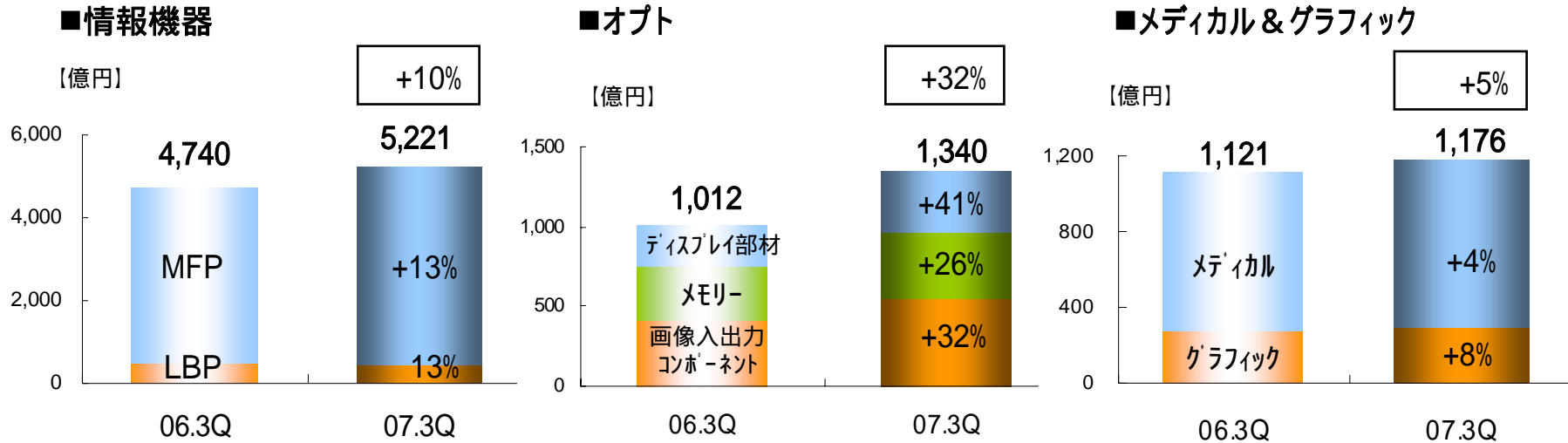
営業利益	07年度			06年度	
	9ヶ月累計	通期予想	進捗率	9ヶ月累計	増減率
情報機器	671	915	73%	546	23%
オプト	242	255	95%	149	62%
メディカル & グラフィック	59	90	65%	71	-17%
その他事業	15	35	44%	19	-18%
事業計	987	1,295	76%	785	26%
フォトイメージング	-	-	-	15	-
HD消去他	91	135	-	67	-
グループ計	896	1,160	77%	703	27%

11/1公表値

07年度第3四半期(9ヶ月) 主要3セグメント概況



売上高



販売数量増減(対前年)

■ MFP : +6%	■ ディスプレイ	■ 医療・ヘルスケア
カラー : +26%	TACフィルム : +47%	X線フィルム : 4%
モノクロ : 1%		デジタル入出力機 : +29%
うちプロダクションプリント : +18%	■ メモリー	
	光ピックアップレンズ : 12%	■ 印刷
	ガラスHD基板 : +14%	フィルム : +1%
■ LBP : 32%	■ 画像入出力コンポーネント	
カラー : 45%	携帯用コンポーネント : +69%	
うちタンデム : +2%		
モノクロ : 27%		

07年度計画達成に向けた第4四半期のポイント



情報機器

- ▶ MFPは、米国での成長減速への対応としては欧州中心としたカラーMFP及びプロダクションプリントの販売に注力し、計画達成に努める。
- ▶ プリンタは、昨年夏実施のMFP販売チャンネルとの統合メリットの早期具現化を図り、オフィス向けのハイエンドカラープリンタの販売拡大に注力する。

オプト

- ▶ 主力製品であるVA-TAC及び次世代DVD用ピックアップレンズは、市場における当社のトップポジションを維持する。
- ▶ 全般的に年末商戦後の需要減退期を迎え、価格下げ圧力が想定される為、収率向上などのコストダウン施策を一層強化する。

メディカル&グラフィック

- ▶ 計画達成に向けて、海外市場を中心にデジタル機器の販売拡大に注力する。

Oce社との業務提携について



情報機器事業の 基本戦略

『ジャンルトップ戦略』に基づきカラーMFPとプロダクションプリント分野に経営資源を集中し、世界レベルでのシェア拡大と収益力向上を図る。

提携の狙い

ライトプロダクションプリント分野への市場参入は成功した。今後はミッド及びヘビー領域へ事業拡大のため、早急にハード及びソフトの強化を目指す。

両社の強み

- ▶ Oce: 高速印刷領域におけるエンジン及びワークフローソフトウェアの技術力
オフィス及びプロダクションプリント両分野でのグローバルな直販体制とサービス網
- ▶ 当社: デジタルカラーにおける画像処理技術と重合法トナーに代表される材料技術
オフィス分野及びライトプロダクションプリント分野のカラーMFPでトップポジション

主な合意内容

- ▶ 研究開発面: ライト及びミッドレンジのプロダクションプリント分野におけるハード及びソフトの共同開発
- ▶ 販売戦略面: 機器・ソフトの相互OEM供給による製品ラインアップの補完・強化
 - 当社 Oce: オフィス分野の全製品、及びライトレンジのプロダクションプリント製品
 - Oce 当社: ミッド及びヘビーレンジのプロダクションプリント製品

参考情報

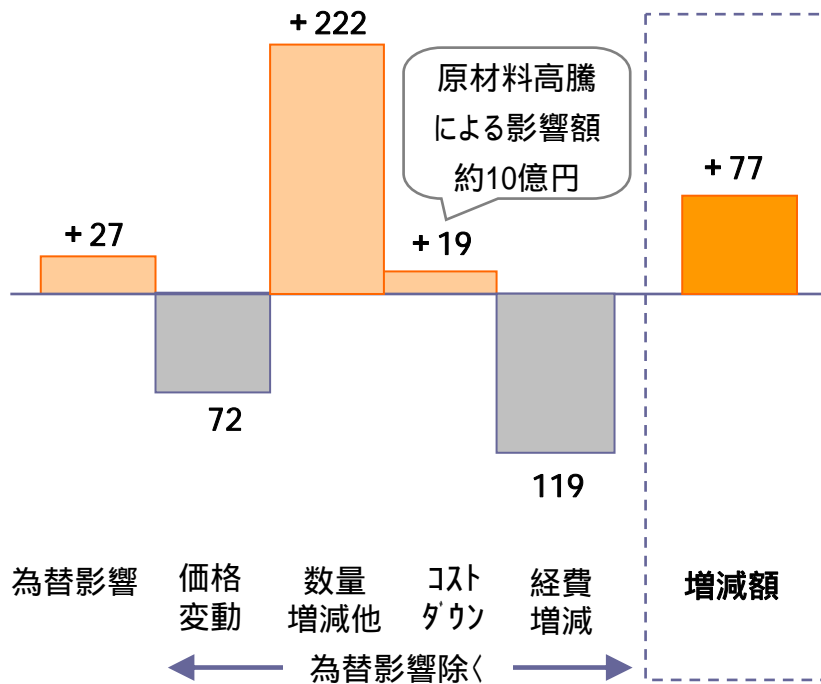
07年度3Q 営業利益増減分析



フォトイメージング事業を除いた前年同期比較

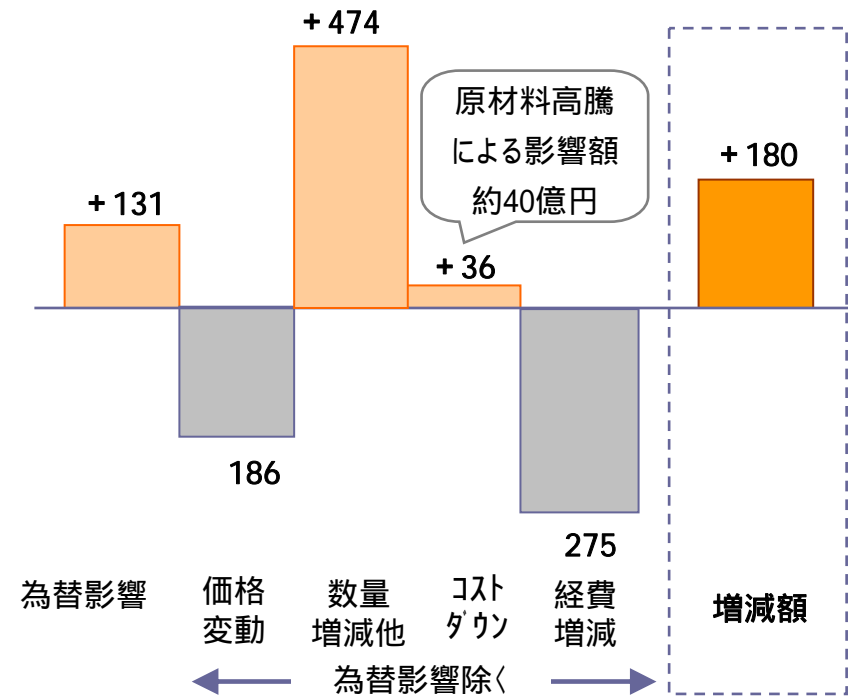
【億円】

3Q (3ヶ月)



【億円】

9ヶ月累計



販売費及び一般管理費



【億円】

	3Q(3ヶ月)			9ヶ月累計		
	07年度	06年度	増減	07年度	06年度	増減
販売費	163	139	24	469	437	32
研究開発費	207	182	25	591	530	61
人件費	416	399	17	1,219	1,168	51
その他	282	247	35	814	747	67
販売費及び一般管理費	1,067	967	100	3,093	2,882	211

販管費における為替影響 3Q(3ヶ月):+15億円(実質85億円の増) 9ヶ月累計:+85億円(実質126億円の増)

営業外収支



【億円】

	3Q(3ヶ月)			9ヶ月累計		
	07年度	06年度	増減	07年度	06年度	増減
受取利息・配当金	7	6	1	20	17	3
為替差益	0	22	22	0	39	39
その他	21	15	6	60	74	15
営業外収益計	28	43	15	80	130	50
支払利息・社債利息	11	13	2	33	40	7
棚卸資産評価損・処分損	7	7	1	32	33	1
為替差損	5	0	5	0	0	0
その他	18	15	2	47	63	16
営業外費用計	36	35	1	112	135	23
営業外収支	8	9	16	32	5	27

特別損益



【億円】

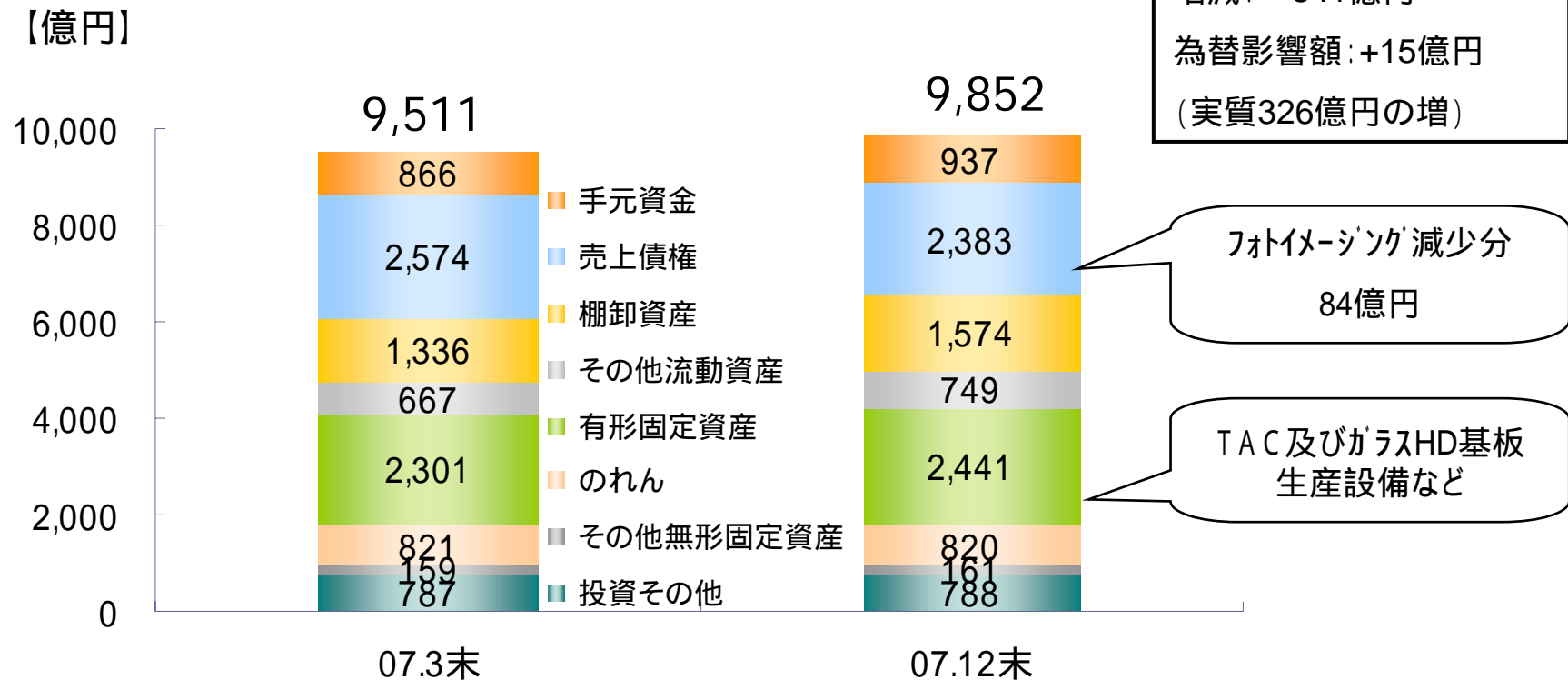
	3Q(3ヶ月)			9ヶ月累計		
	07年度	06年度	増減	07年度	06年度	増減
固定資産売却益	0	45	45	12	53	41
投資有価証券売却益	0	0	0	0	16	16
事業撤退損失引当金戻入	1	14	13	3	21	18
その他	0	0	0	0	12	12
特別利益計	2	59	58	15	102	86
固定資産減損	0	0	0	5	0	5
固定資産廃棄・売却損	5	4	1	16	16	0
その他	0	0	0	6	0	6
特別損失計	5	4	1	27	17	11
特別損益	4	55	59	12	85	97

07年12月末 貸借対照表(資産)



資産の部

為替レート	07.3末	07.12末
US \$	118.05	114.15
1-円	157.33	166.66

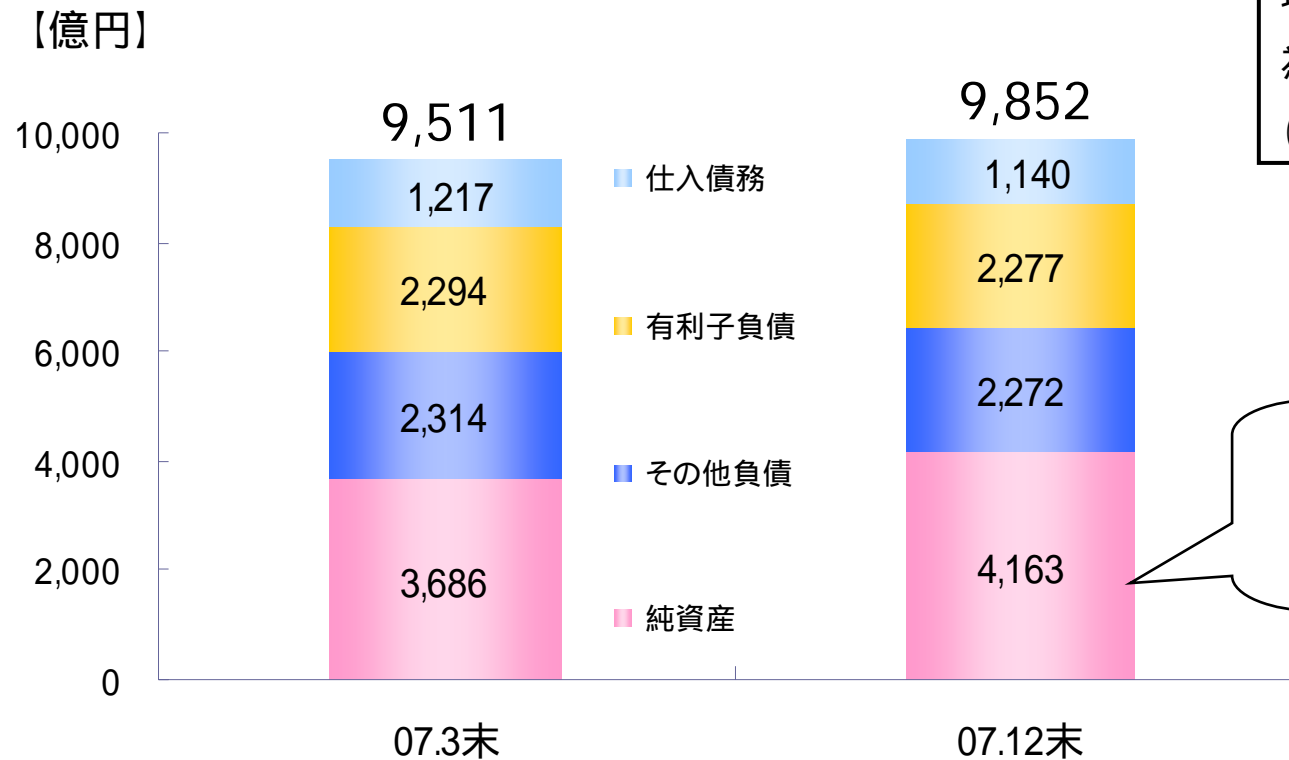


07年12月末 貸借対照表(負債及び純資産)



負債・純資産の部

為替レート	07.3末	07.12末
US \$	118.05	114.15
1-円	157.33	166.66



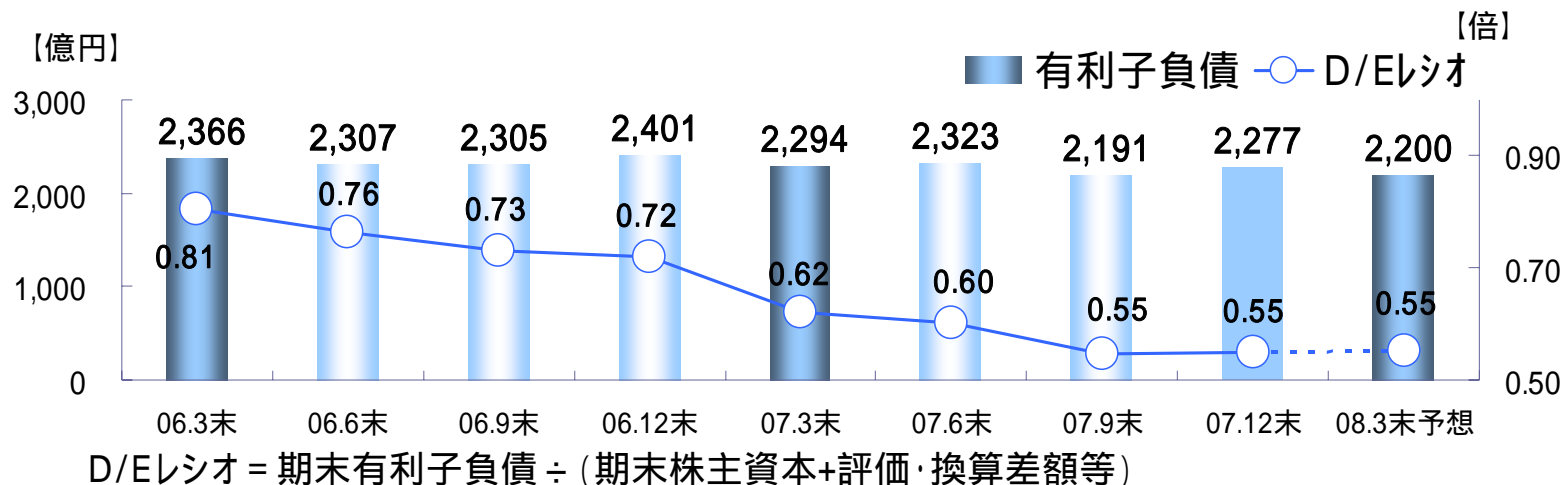
増減: + 341億円
 為替影響額: +15億円
 (実質326億円の増)

自己資本比率
 $\frac{07.3末}{38.6\%} \rightarrow \frac{07.12末}{42.1\%}$

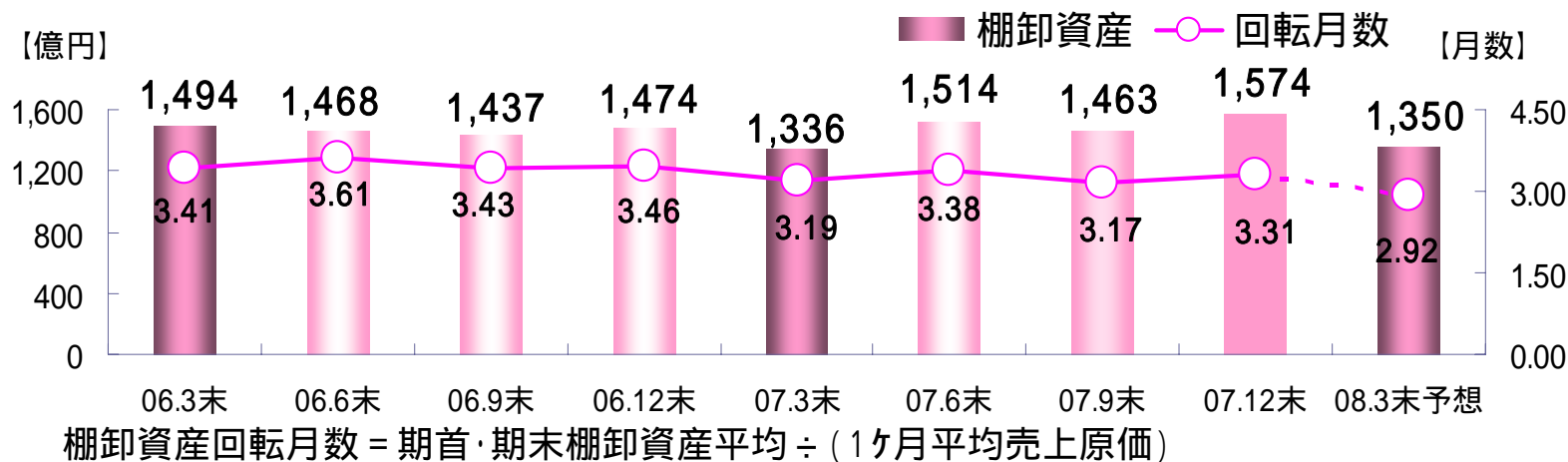
07年12月末 有利子負債及び棚卸資産の推移



有利子負債残高及びD/Eレシオの推移



棚卸資産及び棚卸資産回転月数の推移



キャッシュ・フロー



【億円】

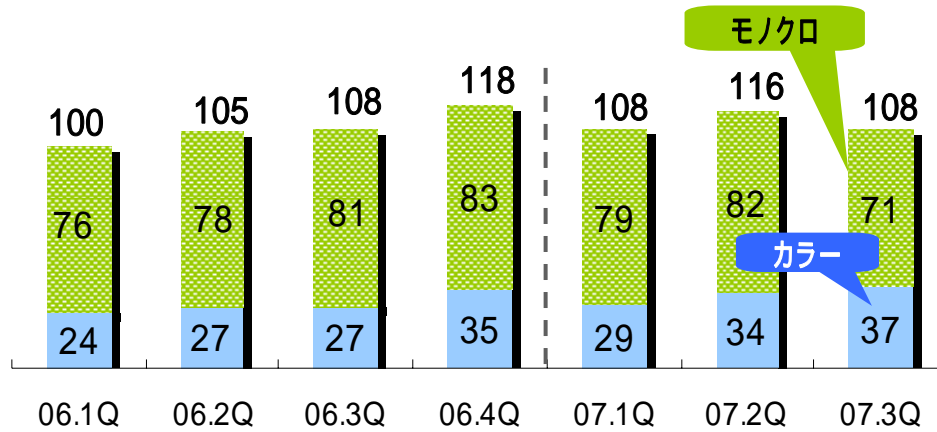
	3Q(3ヶ月)			9ヶ月累計		
	07年度	06年度	増減	07年度	06年度	増減
税金等調整前純利益	314	304	10	852	783	69
減価償却費	160	129	31	445	375	70
フォトイメージング事業終了引当金増減	12	61	49	116	221	105
運転資本増減他	226	206	20	443	502	59
) 営業活動によるCF	236	167	70	739	436	303
) 投資活動によるCF	239	114	125	555	382	173
+) FCF	3	52	55	184	54	131
有利子負債の増減	75	70	5	36	21	15
配当金の支払額	39	0	39	92	0	92
その他	2	1	1	4	2	2
) 財務活動によるCF	35	69	35	131	23	108

<情報機器事業>主要製品販売数量トレンド

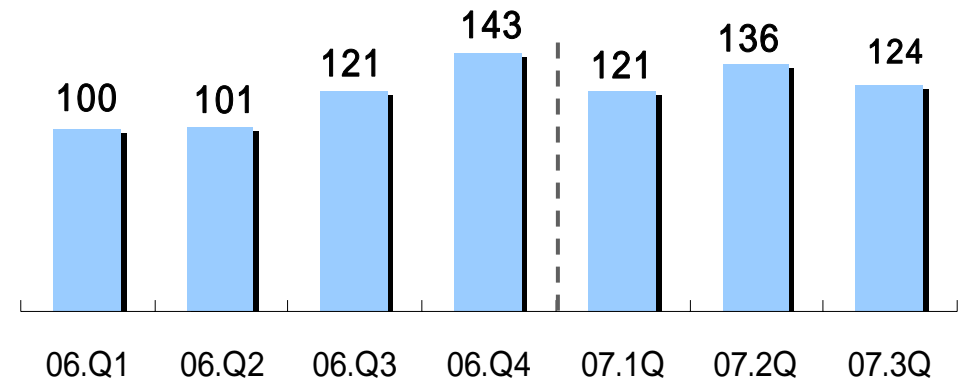


◆06年度1Q実績を100とした場合の指数

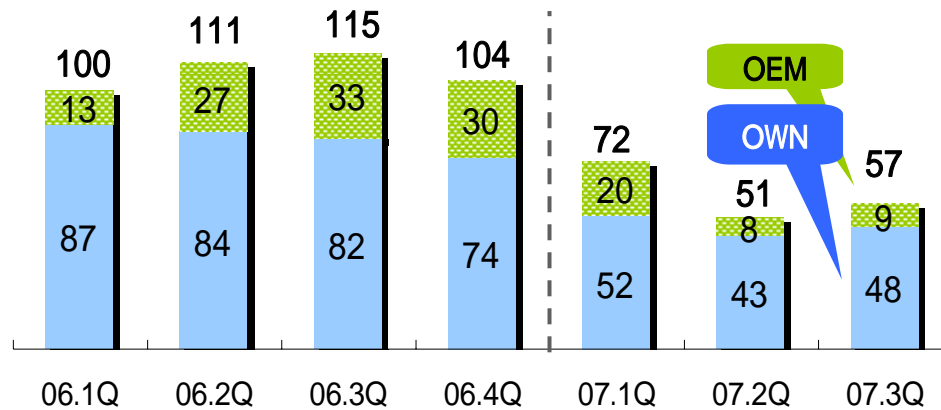
MFP (カラー/モノクロ)



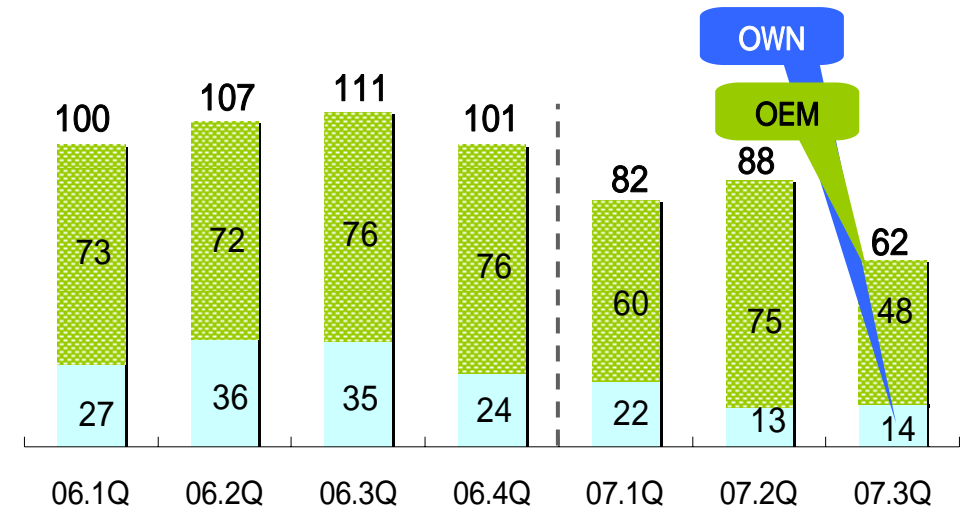
プロダクションプリント(カラー+モノクロ)



カラーLBP



モノクロLBP

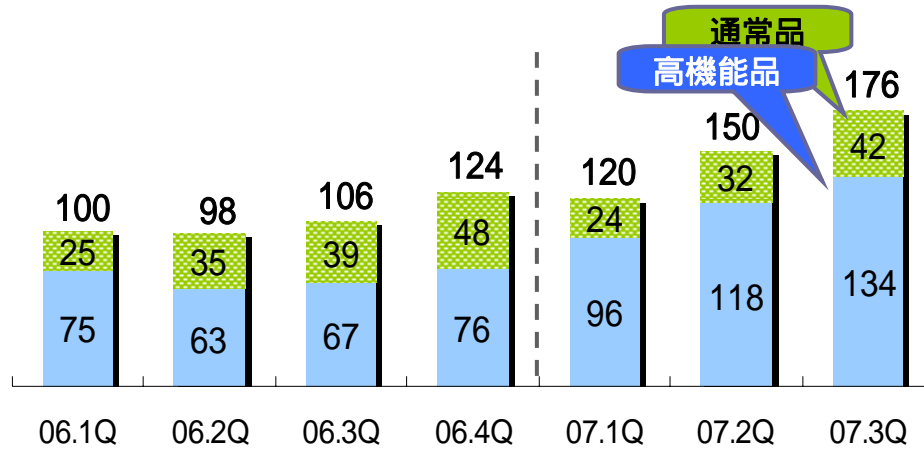


<オプト事業>主要製品販売数量トレンド

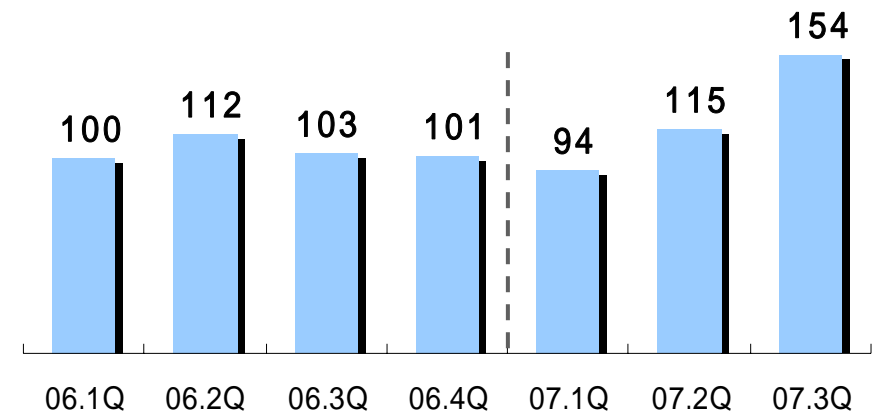


◆06年度1Q実績を100とした場合の指数

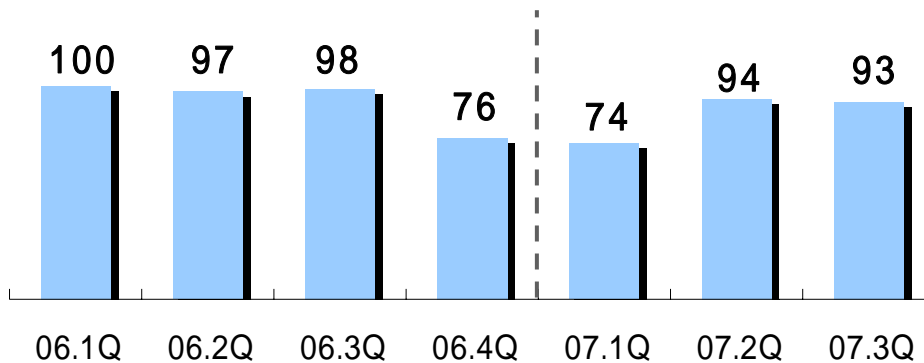
TACフィルム



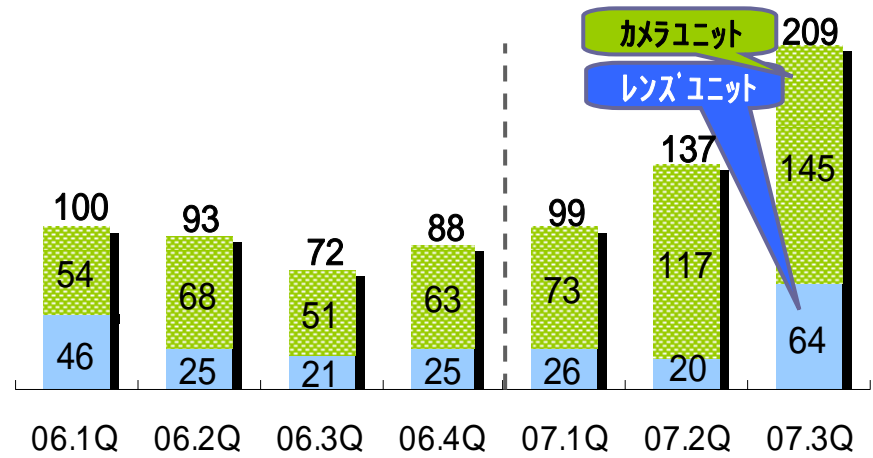
ガラス製HD基板



光ピックアップレンズ



携帯用コンポーネント



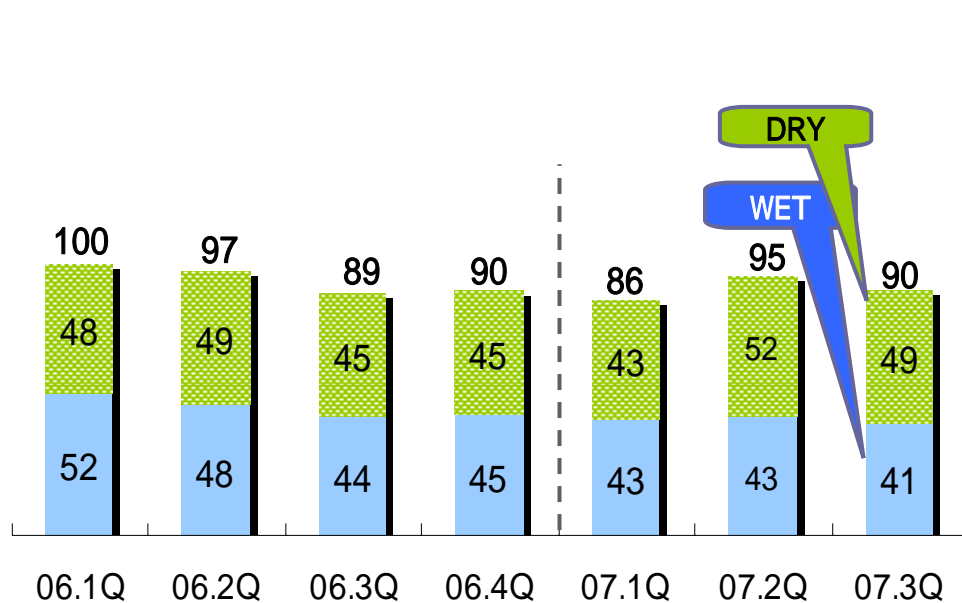
The essentials of imaging

<メディカル & グラフィック事業>主要製品販売数量トレンド



◆06年度1Q実績を100とした場合の指数

X線用フィルム (DRY/WET)



デジタル画像入出力機

